

愛顔かがやけ池島魂

目指す子供像：①んがえる力②んじょうな心と体③さしさ思いやり④じめのある態度

池島小中学校だより
No. 5 R 6. 5. 10

課題が見えた

4月28日（土）に、中学生が「長崎市総合バドミントン選手権大会」に出場しました。6月上旬に行われる「長崎市中学校総合体育大会（中総体）」の前哨戦です。

当日は朝から緊張した様子でしたが、体調はよさそうでした。互いに挨拶をしたあと、試合が始まりました。生徒は、これまで練習を積み重ねてきたことを発揮し、得点を重ねていきました。しかし、相手も強く、なかなか点差が縮まりませんでした。ドロップショットやスマッシュが随所で決まりましたが、惜敗しました。

試合及び審判を終えたあと、反省会をしました。その中で、中総体本番に向けての力強い決意を述べていました。集大成の中総体に向けて、課題が見えました。残り1か月、悔いの残らないよう練習に励んでほしいと思います。



避難訓練

4月24日（火）に、避難訓練を実施しました。今年度第1回目なので、学級で指導をしたあと、訓練を行いました。失火場所は、給湯室を想定しました。非常ベルが鳴り、職員が失火場所を確認し、放送をかけました。児童生徒は、担任の引率のもと、速やかに運動場に避難できました。避難後の振り返りは、中学生の教室で行いました。校長の話の概要は、右の通りです。



今日は今年初めての避難訓練でした。失火場所はどこでしたか。それでは、どっちに逃げますか。火から離れるんですよ。火だけではなく、煙からも離れてください。

火事が起きたときに、一番大切なことは、死なないということです。そのための訓練です。まずは逃げてください。火事はいつ起きるか分かりません。ですから、大事なのは普段から火事が起きたときにはどうすればいいのか考えておくことです。学校では、火を使うところが決まっています。給湯室、理科室、家庭科室くらいです。火事に気付いたら、すぐに先生たちに知らせる、みんなに知らせるようにしてください。

長崎市内の学校でも、以前火事になったところがあります。池島小中学校でも、起きないとは限りません。

これからも、命を守る行動をとっていきましょう。

ソーラン

5月19日（日）に行われる、「池島小・神浦小合同体育祭」に向けて、小学生は体育の時間を中心に、練習を重ねています。先日の朝の活動では、体育祭で披露する「池島・神浦ソーラン」の練習をしました。中学生も、小学生に教えながら踊りました。披露する「ソーラン」は、「南中ソーラン」という、以前テレビドラマで取り扱われ、全国に普及したものです。これは「ソーラン節」を民謡歌手の伊藤多喜雄氏がアップテンポにアレンジした曲に合わせ、それを北海道の稚内南中学校の生徒と教員が踊りを考案したものです。激しい動きが特徴ですが、児童生徒は楽しく踊っています。体育祭当日の力強い演技が楽しみです。

